

第 26 回 FEIAP General assembly (総会) 参加報告 (Digest 版)

1. 概要

日時：平成 30 年 7 月 11 日 (水) -13 日 (金)

7 月 11 日 産業視察 I、12 日 General Assembly (GA)、13 日 産業視察 II

場所：マレーシア連邦イポー市 Hotel Casuarina

参加者：国際委員会：稲垣正晴、鈴木久尚

2. GA 議事次第 (7 月 12 日)

2.1 開会の挨拶： FEIAP President Mr. John Li (台湾)

2.2 最新事項

(1) 現会員：22 エコノミー

組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名	組織名	エコノミー名
EA	オーストラリア	IEM	マレーシア	MES	ミャンマー	AAES	アメリカ
CAST	中国	IPEPNG	バブアニューギニア	IEI	インド	IESL	スリランカ
HKIE	香港	PTC	フィリピン	IEB	バングラデシュ	COREN	ナイジェリア
PII	インドネシア	EIT	タイ	PEC	パキスタン	KIVI	オランダ
IPEJ	日本	IES	シンガポール	CIP	ペルー		
KPEA	韓国	CIE	台湾	ANETL	東ティモール		

2.5 新会員動向

組織名	エコノミー名	世話役エコノミー	現況
NEA	ネパール	インド	正会員
IER	ルワンダ		正会員
IEU	イラク		正会員
IEET	台湾	CIE	Associate Member
MES	ミャンマー		Associate Member
TAM	マレーシア	IEM	Associate Member

2.6 Standing Committee

(1) Environment Engineering (座長：Er. Chong Kee Sen, IES)

進捗状況は以下の通り。

- ① Green Product Listing (グリーンプロダクトを広めるために、関連会社が FEIAP Website にリスティングを行う仕組み) IES が、ビジネスモデル構築やいかに会社や組織を引き付けるかを考え、実行している。
- ② Active Beautiful Clean Waters (シンガポールが制作した持続可能な社会や温暖化防止に貢献する教育プログラム)

2017 年 6 月の AFEO Midterm meeting でトレーニングが計画されたが、2018 年 CAFEO 開催時期まで延期された。

(2) **Engineering Education** (座長 : Dr. Chuah Hean Teik, IEM)

- ① IEM (マレーシア) ,EA (オーストラリア) を中心としたチームによって、アジア太平洋およびアフリカの新興国エコノミー (ナイジェリア、パプアニューギニア、東チモール、バンラデシュ、タジキスタン等) の教育システムに関する Mentoring が実施された。
- ② 技術者を 3 つのカテゴリー (Engineer, Engineering Technologist, Engineering Technician) に分類し、各カテゴリーに関するガイドラインの Draft を作成した。Draft は、各会員エコノミーに送付し、コメントを募った。
- ③ EA が提案した、各エコノミーの教育を司る当局の Website List の提供は、IEM を除き現状では行われていない。
- ④ 中国が当委員会に参加することが提案された
- ⑤ FEIAP の Infrastructure Sustainability Guideline の開発に当たり、EA が草稿の作成を補助することになった

(3) **Information and communication technologies** (座長 : Mr. Sisir Kumar Banerjee, IEI)

- ① 作成した FEIAP Website が、IEM に渡され、メンテナンスをされている。
- ② 座長が、Action Plan の概要説明を行った。
- ③ Website に、各会員エコノミーがその活動を知らせることができるようになった。
- ④ インドを中心として進めてきた当委員会に Coren (ナイジェリア) も参加する

(4) **Disaster Prevention** (座長 : ユンソッキョン、KPEA)

- ① いくつかの会員エコノミーから防災マニュアルに関する情報が寄せられた。
- ② AFEO にも同種の委員会があり、協力できる可能性がある。
- ③ 日本、フィリピン、台湾、韓国、マレーシア、さらに中国を加えた各エコノミーにより、まず台風と洪水に関するマニュアルをまとめる作業を行う。
- ④ ドキュメントの印刷費を FEIAP 予算に計上すべく努力する。

2.7 会計報告 (2017 年 12 月 31 日現在)

- ・ 2017 年会計報告 収入 94,840 RM、支出 109,248 RM
- ・ 内部監査 : WFEO が FEIAP 会計を監査する。内部監査は承認された。

2.8 国際関連

- (1) WFEO President 選挙、現 President の Marlene Kanga 氏が 2019 年まで留任
- (2) WFEO の Subscription Fee が、現在の 807 ユーロから 4050 ユーロに値上げされる予定
- (3) CAFEO36 と FEIAP EXCO meeting が、2018 年 11 月にシンガポールで開かれる
- (4) Engineering Capacity に関する国際フォーラムが、2018 年 11 月 21 日-23 日に中国・北京で開催される

2.9 FEIAP Awards

2018 年 FEIAP Award は、Guo Jianpo 氏 (CAST) と、U Han Zaw 氏 (MEngC) が獲得した

2.10 役員改選

日本の理事任期満了で、オーストラリアが次の理事となった。

2.11 その他特記事項

- (1) 第10回 FEIAP EXCO meeting は、2018年11月13日にシンガポールで開催される
- (2) 第27回 FEIAP GA、及び第5回 FEIAP Convention は、2019年に中国・西安で開催される
- (3) 第28回 GA は、2020年にミャンマーで開催される
- (4) 第11回 EXCO Meeting (CAFEO37 と同時) は、インドネシアで開催される
- (5) FEIAP のもとで、若い PE で構成される新 WG を設置する動きがある。アジア・太平洋地域を中心とした若い PE の交流組織。IEM・HK・中国・IES 間の YPE (Young PE) 交流が既に行われていることや、HK や日本の YPE が CAFEO に積極的に参加していることなどが、設立の底流にある。さしあたって、新 WG 設立を念頭に置いたワークグループを作り、Yeo Su Hong 氏 (前 IEM ペナン支部) を代表として、これからの活動を模索する。

3. 産業視察

3.1 産業視察 I (7月11日) 特別プログラム

マレーシアの産業構造の変化に関する視察を行った。かつてのマレーシアの主産業であった天然ゴムとスズ鉱産業は大幅に減少し、現在ではパーム油が主産業となっている。かつてのスズ鉱山跡を人造湖に改変し、観光地として運営しているところを訪問した。

3.2 産業視察 II (7月13日)

かつてのスズの採掘場の一つで、現在は博物館を兼ねた演習場として運営している Tin Dredge Tourist Center を訪問した。また、スズ採掘博物館の訪問と、IEM の Dr.Chuah 教授の所属する UTAR 大学を訪問した。この大学の設立精神は、西洋の科学と東洋の思想の合体というところにあり、その象徴として、アインシュタインと孔子がチェスと将棋で対面している像が建てられている。

4. 参加所感

IEM が強力なリーダーシップを発揮している。良い点は、会の運営がスムーズに進展し、各エコノミーの親睦情勢に役立っていること。また、悪い点では、IEM のペースに頼りすぎ、他のエコノミーの自主性が損なわれることである。FEIAP の運営に特に積極的な協力をしているのは、CIE、IES、EA、最近では CAST が挙げられる。

FEIAP 自体の活動で、特に大きな影響を与えるものは見受けられないが、アジア太平洋およびアフリカの各エコノミーが一堂に会することから、二国間交流の定礎となる重要な役割を担っているものと思われる。日本技術士会としては、委員会活動にも積極的に参加し、存在感を示すべきものとする。

以上